

<資料 6>

平成30年6月5日
定例記者会見資料

米国国立公文書館原蔵資料展示「戦争と武蔵野Ⅳ」(仮)

本年も昨年同様、市役所ロビーとふるさと歴史館にて米国国立公文書館原蔵資料を使用した展示をおこないます。

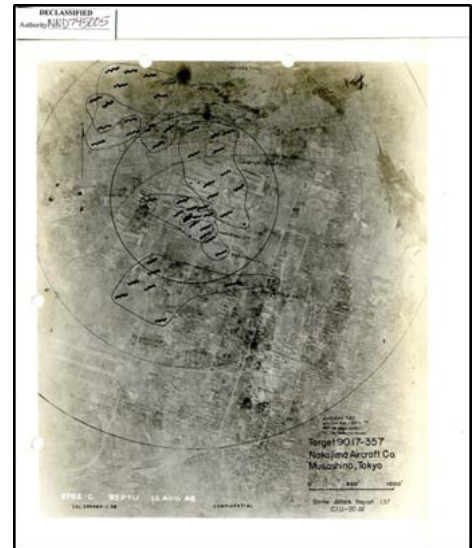
<展示の趣旨>

8月15日、私たちは今年も終戦記念日を迎えます。戦争を直接経験した方々が次々と鬼籍にはいり、戦争の記憶は薄れつつあります。

本市に巨大な工場を建設し、戦闘機「隼」や「零戦」に搭載された「栄」エンジンを生産した中島飛行機株式会社について、市内で入手できる資料は必ずしも多くはありません。当館ではこの不足を補うため、平成27～28年度に米国国立公文書館から資料の調査収集を実施し、調査の成果を展示として市民の皆様へ還元してまいりました。昨年、当館で開催した企画展では、当時の「敵国」であるアメリカ軍の文書を紹介するとともに、作戦の経緯、攻撃後の戦果分析のありよう、B29の搭乗員の姿など、今まで市民にあまり知られていなかった歴史的事実も紹介することができました。

今秋、当館では中島飛行機武蔵製作所に携わった、あるいは働いていた「人」にもスポットを当てた展示を企画しています。今夏の展示はそのプレ展示という位置づけです。

平成最後の終戦記念日となる今年、当館の展示を通じ戦争の悲惨さと平和の尊さを感じていただければ幸いです。



最後の爆撃(9回目。昭和20(1945)年8月8日)後に作成された「損害評価報告書」の添付航空写真(米国国立公文書館原蔵)。



中島飛行機に勤務していた大久保氏が出征する際、職場の同僚から贈られた日章旗。右端の川崎舎竹男は武蔵製作所の技術課長と思われる。平成30年度寄贈資料。

市役所ロビー展示 平成30年7月27日(金)～8月14日(火)

歴史館会議室展示 平成30年7月28日(土)～8月19日(日)